



さくらやまへ

山辺地区立志式 2019年3月開催予定

2019年3月1日現在	
世帯数	5,316 戸
人口	5,842 人
男子	6,164 人
女子	12,006 人



決意のこたばを述べる谷川さん

入山辺・里山辺両地区に居住する数え年で15歳の中学2年生80名が参加し、地域の方に見守られながら将来へ向けての決意を新たにしました。入山辺地区の谷川慧佳さんが参加者代表で決意のこたばを次のように述べました(抜粋)。

『私は小学校の頃は、家で工作をしたり、絵を描いたりすることが大好きでした。どちらかというと、家で黙々とやるが多かったように思います。ですが、中学校に入り、人間として成長できるためには、勉強だけでなく、部活動に積極的に参加し、より多くの人たちとつながりを持ち、新たな自分を発見していきたく

と思うようになりました。そして私は、陸上部に入部しましたが、はじめは一日一日を過ごすのに精一杯で家に帰るとすぐ、制服のまま横になり、しばらく寝てしまうこともあり、慣れるまでは大変でした。でも、先輩や仲間たちとお互いに励まし合い、自分の種目の精度を高めていくことで体力面も精神面もぐんぐん強くなったように思います。部活動での体験は、大切な財産です。

私は、立志式にあたり、明日へ羽ばたく自分に送る漢字を「必ず」という字にしました。周りから必要な存在とされ、自分で決めたことを必ずやり通す自分でありたいと思います。そして、私は、将来社会に貢献できるような仕事につきたいと思っています。そのためには、まず目の前の生徒会・部活動での自分の役割をしっかり果たすこと、そして受験勉強をのりきるこ

特別寄稿 立志式の感想

平成31年2月2日(土) 山辺地区立志式に参加しました。あえて平成31年と書きまもって幕を閉じ、5月1日より元号が変わり新しい時代に移っていくわけです。中学2年生の為に行われた式であり、3年生には卒業式があるが、2年生には式がないので15歳(3/4成人式)のお祝いと聞いています。多田実行委員長のあいさつ文で

です。自分を見失わず、努力を積み重ね自信を持って自分の人生を歩んでいきたいです。そして今日のこの日を新たなスタートとして頑張っていきたいと思えます。

これからもさらに、私たちの成長をあたたく見守って下さる地域の皆様や、支えて下さる方への感謝を忘れず、生きていきたいと思えます。』

立志式のアンケートには「地区の為自分ができる事を考えて自ら動きたい。」「地域の行事に参加したり町会のためになることをしたい。」「等前向きな声が多く寄せられました。

「立志式」は平安時代からのもので、男性の元服、女性の裳着という当時の成人儀式から来ているとの説明がありました。そ



嘉納夫妻の演奏の様子

して、「町会、地域での生活について」田村里山辺地区町会連合会長のお話、「地域を支えている方から学ぶ」石川第19分団里山辺消防団長のお話、「演奏と人生トーク」嘉納雅彦、尚代夫妻のチェロとピアノの演奏とお話と進みました。そして、参加した生徒代表の決意の言葉、漢字の発表と進みました。参加した生徒の姿は、新しい時代の担い手にふさわしく感じました。丁度小学校で教頭をやって退職した時の1年生でした。

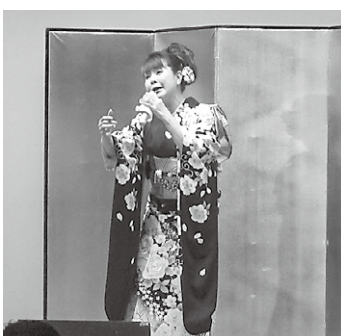
北小松町会 百瀬 裕

楽しいひと時

「早春の夕べ」

3月8日(金) 夕刻6時半から福祉ひろば主催で「早春の夕べ」を開催いたしました。歌手の百々香さんと、落語家の古今亭菊生師匠をお迎えして約2時間半、160人を超えるご来場者と共に楽しく過ごしました。

百々香さんのショーでは珍しいベリーダンスなるものも披露いただきました。つけ歌最後の曲は圧巻でした。歌だけでも大変なのにあの台詞は信じられません。



百々香さんの魂の熱唱が場を盛り上げました

軽妙な語りにも真打の巧さを堪能させて頂きました。頭の中に三百も唄が詰まっているとは驚きです。

ご来場くださいました皆様、ご協力頂きました各種団体の皆様へ感謝です。

福祉ひろば事業推進協議会会長 藤井 敬善



山辺学校歴史民俗資料館(以下歴民館)の前身の旧山辺学校校舎は、旧開智学校の建設にも携わった里山辺の大工・佐々木喜重が棟梁として腕をふるった明治期の近代学校建築です。新歴民館のコンセプトは、まさに、「原玉である山辺学校のそのものを見せる」ことにあります。ご来館の際は、外観から和・洋・社寺風の特徴を見つけたり、中に入っては、漆喰壁に障子窓という山辺学校特有の教室のたたずまいを感じたりしていただけたらと思います。

館内は、部屋ごとにテーマに沿った展示となります。館内案内のとおり、一階は明治期の県内の学校建築の紹介とともに、特色ある山辺学校校舎の詳細やそこで営まれていた教育諸事、農家の囲炉裏端の再現や米作り関連農具の展示となり、二階は

山辺学校歴史民俗資料館②

新歴民館のコンセプトと

リニューアル後のみどころ

山辺地区の歴史や民間信仰・産業のほか、祭りや山城などの展示もあり、山辺の魅力満載です。

耐震改修工事を終えた歴民館は、4月末、装いも新たに「旧山辺学校校舎」として開館します。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

歴民館担当 小山 淳一

山辺地区の歴史や民間信仰・産業のほか、祭りや山城などの展示もあり、山辺の魅力満載です。耐震改修工事を終えた歴民館は、4月末、装いも新たに「旧山辺学校校舎」として開館します。多くの皆様のご来館をお待ちしております。

歴民館担当 小山 淳一



「助けて」を言える地域づくり勉強会

〜今年度のまとめ〜

これまで、里山辺における互助(隣近所として何ができるか)のあり方について、考えてきました。勉強会で明らかにされたのは町会役員や民生児童委員に過大な負担を背負わされていることです。その最たる場

面は災害時の「助けて」です。本場に「助けて」を求める要援護者が多くいる反面、要援護者の安否確認や避難支援を町会役員や民生児童委員のたった数名で行うのは無理があります。

今回の勉強会では最新の地域防災の考え方や他地区の事例を取り上げ、自分たちの町会や隣組でそこに住む人たちができることを話し合い、誰もが安全に

避難するためのマニュアルづくりに取り組むように学習を重ねました。

一人ひとりが大災害で日常生活がどのように変化するかを真摯に考えて身近な「助けて」の声に対して何ができるのかたくさんの方の知恵を出し合ってみましょう。これが「互助」の第一歩です。

みんなで話そう



まちづくりトークは本年で5回目を迎え、1月19日公民館大会議室で53名の参加者で行われました。里山辺のこれからのまちづくりについて「夢」や「課題」、今地区で困っている事、将来の地区に不安を感じている事、互いの立場を越え自由に語り合う場です。

多くの方から貴重なご意見、新たなご提案がありました。絆づくり・交流・町会、世代間、防犯・防災、教育・文化、健康・福祉、産業・観光、環境・衛生、各分野にわたります。詳細は4月配布の回覧をご覧ください。ご提言、ご意見は具体的に検討し、出来る内容から発言者の方と一緒に今後の地区の課題として取組みを始めます。

町会連合会では3月の美ヶ原温泉の活性化の取組などを現地に出向き説明を受け、地域づくりの参考になればと思います。

里山辺地区まちづくり協議会 会長 西村 伏哉

里山辺地区あいつつ運動カレンダーができました

今年のあいつつ運動カレンダーは11月の文化祭にて募集した「あいつつ運動宣言」を掲載しております。宣言を参考に自身のおあいつつ目標をたて、カレンダーに記入し、あいつつをしましょう。里山辺があいつつにあふれる明るい地区になるようにご協力ください。また、カレンダーには、小中高生の絵や、地区の写真を掲載し、地区の行事予定も入っておりますので、ぜひご利用ください。

里山辺地区地域づくりセンター 丸山 知世



今年度のあいつつ運動カレンダー

トピックス

2月17日(日)の第34回松本市公民館研究集会において松本市公民館功労者表彰が行われ、地区から図書視聴覚委員を以て21〜30年度の9年間務めた松井幸子さん(下金井)と小平香さん(新井)が表彰されました。ごころうさまでした。